

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200908		
法人名	株式会社ユニマツ リタイアメント コミュニティ		
事業所名	中野新田グループホームそよ風 (やすらぎユニット)		
所在地	静岡県駿河区中野新田254-5		
自己評価作成日	平成29年10月5日	評価結果市町村受理日	平成30年2月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kami=true&JigyosyoCd=2294200908-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成29年11月10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

以前より自立支援には力を入れてきましたが、一步前に進み利用者様の地域行事の参加を重点に置き、まずは、敬老会の参加を目標に持ち参加して頂きました。それと同時に外食会を月2回開催し参加できない方は、ソフト食を提供し見た目でも、おいしさを味わっていただけるように努力しています。ご利用者様が少しでも外を楽しんでいただけるように、ドライブや遠足・ぶどう狩りなどの企画をし実践しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

現在「待ちが7名」と、利用者・家族に人気の高い事業所です。「運動・食事・水分」の3点に力を入れた、「自立支援」と「外出・外食支援」が、入居を判断するための見学時にも大変評価されています。ドリンクの種類も豊富に用意して細目に水分を提供し、また日常的にスーパーマーケットにでかけて家事りハビリを支援し、デパートへバスに乗ってでかけたり、月2回の外食(蕎麦、焼き肉、ラーメン等)も生活に溶け込んでいます。また看取りにも熱心で、職員は概ね経験者です。都度重なるカンファレンスを通じてケースバイケースを習熟するなか、泊りも受入、フルオープンで夜中に訪れる親族もあり、「此処でよかった」と喜ばれています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	人の幸せを創造していく理念に基づき利用者様・ご家族様そして職員の幸せを共感し共有しながら共に生きて行けるように職員・管理者が努力している。	法人とともに事業所理念を置き、「月間目標」と「会議での討議」で理念共有を進めています。職員の「個人目標(半年毎)」にも落とし込み、振り返りは上期・下期の個人面談でおこない、マネジメントサイクルに乗せています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のイベントに参加し地域の方々との交流を積極的に行っています。散歩の際は、職員が積極的に、地域の方々に挨拶し皆様を覚えて頂けるようにしています。	「自立支援」「外出支援」を法人が奨励し始め、また管理者も着任2年で落ち着きを取り戻していることから、敬老会、運動会、お祭りには積極的に参加しようとしています。敬老会では婦人会との顔つなぎもでき、事業所としてもプラスαを享受できています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会時に、地域の方々に認知症についてのケアの仕方などの質問にお答えし不安に思っていることを相談できるような体制づくりに努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者の活動報告やサービスについてお話居ています。地域の皆様のご意見を伺いサービス向上に生かしています。	体調を崩した人も重なり、メンバー数が大幅に減っていますが、それでも町内会長、民生委員を中心に隔月開催が叶っています。写真を入れた取組み状況を書面で準備しており、目から入る情報に刺激されて盛り上がりみせる回もあります。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者には、運営推進会議に出席して頂いたり解らないことは、電話で聞くなどして、事業所の実績を伝えながら協力をお願いしています。	運営推進会議に市役所からの出席はありませんが、事業所では議事録を届けています。毎月訪れる介護相談員は「今日は表情がよくないけど、何かありましたか」といった観察からの気遣いがある人で、職員とは異なる視点、切り口で関わってもらえ、助けられています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、事業所全体で拘束委員会を作り内部・外部研修を行い職員に呼びかけています。	帰宅願望の症状がある人が3名いて心配なこともあります。概ね法人の方針として日中も玄関は施設しています。ただし玄関近くで右往左往したり、座り込んでいたり、管理者が「お出かけしましょうか」と声をかけて、近所を散策して気分転換を図っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法及び事例について研修を行い高齢者虐待防止委員会を作り職員の意識向上に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人制度について内部研修で学び、職員間で共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約、改定の際には、ご利用者様やご家族に十分に理解して頂けるように説明し疑問があれば納得して頂けるように、お答えしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が面会に来た時は、話をし意見要望をお聞きするように心がけています。ご意見箱の設置や家族会を行い気楽にお話して頂ける場を提供しています。	年1回の家族会、運営推進会議への参加は決まった顔ぶれで、また面会が年1、2回という家族もいることから、事業所では「ホームだより」を毎月家族へ届けています。「ホームからの一言」欄では個別のメッセージとして状態が伝わり、写真で変化も把握してもらえます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々声掛けをし意見や提案を聞き、ユニット会議・全体会議・三者会議を開き話し合いの場を設けております。	出産等自己都合での退職者はいますが「勤務歴3年以下の人がいない」という定着率の高さで、協議の場も「全体」「ユニット」「リーダー」と豊富です。お互いのことを理解しているからか、ハッキリと指摘し合えることが良好に反映していて、改良事例も多くあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2～3回の自己評価と面談を面接を実践し職員個々の実績・勤務状況を把握し、また意見を聞き働きやすい環境づくりに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社長自ら職員教育に力を入れており、毎月研修を設け個々の力に依じての研修を行っています。自施設では、ホーム会議にて、勉強会を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の会合に出席したり、研修で知り合った同業者との連絡を取り情報共有を行っています。サービスの質の向上に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の時同じ目線で、お話をし困っていることや要望を伺い少しずつ解決する様に、心がけ信頼関係を築いています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族と面談し困っていることや、要望をお聞きしご家族の思いをくみ取り良い関係づくりに、努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族と面談し、生活状況を聞き、まづ何が必要なか見極め必要であれば他のサービスの利用についてもお話をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、利用者様と生活を共にし家族の一員のような関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、本人の様子を伝え毎月送るホーム便りで、行事に参加する写真や普段の様子などお伝えしています。家族がいつでも気安いように声掛けすることを心がけています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人などの面会時気安いように職員が温かくもてなしています。	午前はレクリエーションに集中との考えから面会を午後と指定するものの、「時間で断る」ことはせず、普段から友人も訪れ、家族の中には仕事帰りで21時頃ということもあります。看とりではフルオープンにし、泊りも受入、夜中に訪れる親族もあり、「此处でよかった」と喜ばれています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないように、職員が利用者様同士の話の橋渡しをしています。合同レクリエーション等で仲間意識が出来るように心がけ支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も積極的に相談に応じています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当者が、ご利用者様の要望や意見を伺い計画作成に反映しています。困難な場合は、本人本位で、考え検討しています。	難儀な症状には「ひもときシート」を使用しています。編み物、塗り絵の好きな人には職員が準備することで続けられていたり、絵手紙を趣味とする人と職員と一緒に制作活動をする、利用者が指導者となれる場面もあって、自己有用感を高めることにつながっています。	通常なら余分かとも思われる、プラスαの一言が加わると、利用者本人の気持ちに副うやりとりも生まれるのではないかと思います。コミュニケーション力の更なる向上を期待します。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からご利用者様の生活歴を伺い馴染みの方々には、積極的に施設に足を運んでいただけるようにお話をしています。センター方式を取り入れ馴染み暮らしについて聞き取りをしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の健康状態の把握の為バイタルチェックを午前午後の2回行っています。心理状態については、ご利用者様の様子を観察し現状の状態を把握しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の担当職員を置き、モニタリングを行っています。計画作成者・ケアマネ・介護職員でカンファレンスを行い介護計画を作成しています。	ひもときシートやセンター方式も一部導入し、計画作成担当者ができる職員も4名となり、本件に関して充実しています。本年度から法人方針で「運動・食事・水分」の3点に力を注ぐようになり、介護支計画書の更新時には、そこに着眼した内容に変更しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を観察し問題点を抽出し見直しをして実践する。その結果を職員が共有しながら介護計画に反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様一人一人のニーズに合ったサービスの提供をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し、その人に合った活用方法を考え提供に努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の往診が週に1回あり個別でもかかりつけ医の受診の際には、ご家族に付き添っていただいています。その際状況を口頭かお便りでお伝えしています。	週1回来所がある協力医に17名が変更されていて訪問診療を受けています。かかりつけ医を続ける1名と専門医全般は家族ということになっていますが、無理な場合は職員が手伝っています。訪問看護事業所が週1回入っていて、協力医とも連携くださっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が、週に1度健康管理に来ておりその都度利用者様の普段の様子や健康状態を津手当います。必要に応じては、医師・ご家族にお願いし受診をお願いしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際は、利用者様の普段の様子をお伝えし、退院の際は病院より情報を伺い情報共有しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合のご家族の考えや本人の考えを入所時に伺っておりますが、その場になるとご家族の考えが変わることがあるので、納得のいくまで話し合い。医師・看護師・職員で話し合い取り組んでいます。	職員は概ね看取りの経験をもち、都度重ねるカンファレンスを通じてケースバイケースを習熟しており、年1回は基本知識への振り返り研修もこなっています。看とりに際して医療を加えることを好ましく思わない家族が大半のため訪問看護事業所も入らず、自然な形で見送っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変・事故発生時のマニュアルに沿って行えるように、日々訓練をしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の避難訓練を年2回行っています。地域の方々へ、緊急時声を掛けてください手を貸します。と言って下さいます。	昨年度の目標だった備蓄水は現在200ℓまで増やし、本部に備蓄庫の設置も申請しています。海岸近くのため、事業所建物のオーナーが持つ建造物を避難場所として加えることも導入し、また報知器の誤作動のアクシデントから直接消防署に助言をもらえての改善機会もありました。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格を尊重しプライバシーを損ねないように対応しています。	正社員は全員が拘束・虐待廃止委員会、事故対策委員会に所属し、話し合いの場にはパートタイマー職も入り、勤務経験の長い間柄ならではの忌憚ない指摘もあつて、言葉遣いや振舞について省みることができています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活で、本人の希望や意志を自己決定できるように声掛けに心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしいペースで生活できるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で、服を決め出かける時は、職員と一緒に服を選び、おしゃれして外出しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に1度ご利用者が、おやつ作りをし皆で、食べるイベントを行っています。食事の準備や片づけ買い物を手伝って頂いています。	主菜に副菜が2品、デザートも2品ついて栄養満点の献立は、買い出しも調理も職員がおこない、また食卓にもついて皆同じものを食しています。珈琲ゼリーの蓋が予め剥がされ、またカレー Spoonには紙ナプキンがまかれていて、丁寧な準備があります。	準備や後片付けは大変かと思いますが、デザートスプーンがあるとなおよいと思います。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者のカロリー調整や薬の調整で食べられない物を把握し提供しています。水分は、2000CCを目標に飲んでいただいています。献立には気を遣い魚料理や酢の物などバランスよく献立を作っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは三食後・起床時・臥床時行っています。口腔内を観察し支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自立支援に向け、少しでも紙パンツやオムツを減らす取り組みをし3名布パンツになりました。これからも排泄チエックを行い布パンツに移行して行きます。	職員の意欲とともに声かけも促進して、状態は日進月歩で向上しています。「洩らしたらどうする？」と心配する利用者本人に、職員が「大丈夫だと思いますよ」と励まし、5名が紙パンツから布パンツに向上し、布パンツになると「トイレに行かなくては」との本人の自覚を高めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	現在水分量を増やし下剤薬の廃止に勤めています。食物繊維を取り運動も行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本は、午前中入浴ですが、希望により夜間の対応もしています。	週2日を目安に主に午前入浴としていますが、「午後にしたい」「夜がいい」にも「その人のリズムがあるとして」応えていて、歌をうたうことが愉しみな人もいます。3面から脚が入る浴槽ですが、一面は脚を入れる安定性を高めるよう台座で埋めていて、利用する人もいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の習慣に応じて就寝時間も違ってきます。眠れる時間まで、リビングで過ごされたり、居室でくつろげるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに服薬の情報を共有しています。薬を確実に飲んでいただけるように、時間・曜日に個別袋を用意支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日リハビリ体操や音楽体操で体を動かしていただいています。掃除・洗濯・食事作りなどその方の得意なものをやって頂き役割分担しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	利用者の希望に添って外食会や地域の行事・デパート・スーパー・百貨・洋服屋・ぶどう狩り・サファリパークに外出しています。	日常的にスーパーマーケットに出るほか、デパートへバスに乗ってでかけたり、月2回の外食(蕎麦、焼き肉、ラーメン等)も生活に溶け込んでいます。個別外出では敬老会、全員外出ではぶどう狩りもあり、サファリパークも台風で流れていますが本年の目玉企画でした。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人的にお金を持っている方はいませんが、個人で買い物に行くときは、支払いを利用者様にして頂くこともあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様の希望により電話連絡をしていますが、比較的はがきや手紙を使用しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングのような共有部分には間接照明器や心地よい温度・湿度設定に心がけています。季節が分かるように壁には、季節感のある飾りつけをしています。	利用者に剥がされてしまい効果的に機能はしていませんが、玄関には職員の顔写真が示され、またクリスマスグッズの飾り付けも赤、白で華やかです。外出行事の思い出写真がリビングに連なり、昨年度暮れからは芳香剤も導入しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには、ソファを配置しておりどこでも好きな場所に座って頂き、気の合ったご利用者様と気軽に会話できるように心がけています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の居室には、なじみの家具や家族の写真を持って来ていただき居心地の良い部屋作りをしています。	机としても使える棚スペースと、扉のついたクローゼットが予め配されています。ペットの足元にタオルを置く癖が「危ない」利用者には滑り止めのついたマットを購入したり、夜間でも照明の自己運用ができるよう鈴を付けたケースもあり、暮らしやすさへの配慮を確認しました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険の無いようにバリアフリーの建物となっています。トイレの位置や浴室の位置など解り安いように工夫しています。手すりも取りついており移動しやすい配慮をしています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294200908		
法人名	株式会社ユニマツ リタイアメント コミュニティ		
事業所名	中野新田グループホームそよ風 (ゆとりユニット)		
所在地	静岡市駿河区中野新田254-5		
自己評価作成日	平成29年10月5日	評価結果市町村受理日	平成30年2月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2017_022_kami=true&JigyosyoCd=2294200908-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成29年11月10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

以前より自立支援には力を入れてきましたが、一步前に進み利用者様の地域行事の参加を重点に置き、まずは、敬老会の参加を目標に持ち参加して頂きました。それと同時に外食会を月2回開催し参加できない方は、ソフト食を提供し見た目でも、おいさを味わっていただけるように努力しています。ご利用者様が少しでも外を楽しんでいただけるように、ドライブや遠足・ぶどう狩りなどの企画をし実践しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

現在「待ちが7名」と、利用者・家族に人気の高い事業所です。「運動・食事・水分」の3点に力を入れた、「自立支援」と「外出・外食支援」が、入居を判断するための見学時にも大変評価されています。ドリンクの種類も豊富に用意して細目に水分を提供し、また日常的にスーパーマーケットにでかけて家事りハビリを支援し、デパートへバスに乗ってでかけたり、月2回の外食(蕎麦、焼き肉、ラーメン等)も生活に溶け込んでいます。また看取りにも熱心で、職員は概ね経験者です。都度重なるカンファレンスを通じてケースバイケースを習熟するなか、泊りも受入、フルオープンで夜中に訪れる親族もあり、「此処でよかった」と喜ばれています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	人の幸せを創造していく理念に基づき利用者様・ご家族様そして職員の幸せを共感し共有しながら共に生きて行けるように職員・管理者が努力している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のイベントに参加し地域の方々との交流を積極的に行っています。散歩の際は、職員が積極的に、地域の方々に挨拶し皆様を覚えて頂けるようにしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会時に、地域の方々に認知症についてのケアの仕方などの質問にお答えし不安に思っていることを相談できるような体制づくりに努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者の活動報告やサービスについてお話をしています。地域の皆様のご意見を伺いサービス向上に生かしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者には、運営推進会議に出席して頂いたり解らないことは、電話で聞くなどして、事業所の実績を伝えながら協力をお願いします。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、事業所全体で拘束委員会を作り内部・外部研修を行い職員に呼びかけています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法及び事例について研修を行い高齢者虐待防止委員会を作り職員の意識向上に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人制度について内部研修で学び、職員間で共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約、改定の際には、ご利用者様やご家族に十分に理解して頂けるように説明し疑問があれば納得して頂けるように、お答えしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が面会に来た時は、話をし意見要望をお聞きするように心がけています。ご意見箱の設置や家族会を行い気楽にお話して頂ける場を提供しています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々声掛けをし意見や提案を聞き、ユニット会議・全体会議・三者会議を開き話し合いの場を設けております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2~3回の自己評価と面談を面接を実践し職員個々の実績・勤務状況を把握し、また意見を聞き働きやすい環境づくりに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社長自ら職員教育に力を入れており、毎月研修を設け個々の力に依じての研修を行っています。自施設では、ホーム会議にて、勉強会を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の会合に出席したり、研修で知り合った同業者との連絡を取り情報共有を行っています。サービスの質の向上に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の時同じ目線で、お話をし困っていることや要望を伺い少しずつ解決する様に、心がけ信頼関係を築いています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族と面談し困っていることや、要望をお聞きしご家族の思いをくみ取り良い関係づくりに、努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族と面談し、生活状況を聞き、まづ何が必要なのか見極め必要であれば他のサービスの利用についてもお話をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、利用者様と生活を共にし家族の一員のような関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、本人の様子を伝え毎月送るホーム便りで、行事に参加する写真や普段の様子などお伝えしています。家族がいつでも気安いように声掛けすることを心がけています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人などの面会時気安いように職員が温かくもてなしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないように、職員が利用者様同士の話の橋渡しをしています。合同レクリエーション等で仲間意識が出来るように心がけ支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も積極的に相談に応じています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当者が、ご利用者様の要望や意見を伺い計画作成に反映しています。困難な場合は、本人本位で、考え検討しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からご利用者様の生活歴を伺い馴染みの方々には、積極的に施設に足を運んでいただけるようにお話をしています。センター方式を取り入れ馴染み暮らしについて聞き取りをしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の健康状態の把握の為バイタルチェックを午前午後の2回行っています。心理状態については、ご利用者様の様子を観察し現状の状態を把握しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の担当職員を置き、モニタリングを行っています。計画作成しや・ケアマネ・介護職員でカンファレンスを行い介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を観察し問題点を抽出し見直しをして実践する。その結果を職員が共有しながら介護計画に反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様一人一人のニーズに合ったサービスの提供をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し、その人に合った活用方法を考え提供に努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の往診が週に1回あり個別でもかかりつけ医の受診の際には、ご家族に付き添っていただいています。その際状況を口頭かお便りでお伝えしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が、週に1度健康管理に来ておりその都度利用者様の普段の様子や健康状態を津手当ります。必要に応じては、医師・ご家族にお願いし受診をお願いしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際は、利用者様の普段の様子をお伝えし、退院の際は病院より情報を伺い情報共有しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合のご家族の考えや本人の考えを入所時に伺っておりますが、その場になるとご家族の考えが変わることがあるので、納得のいくまで話し合い。医師・看護師・職員で話し合い取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変・事故発生時のマニュアルに沿って行えるように、日々訓練をしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の避難訓練を年2回行っています。地域の方々には、緊急時声を掛けてください手を貸します。と言って下さいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格を尊重しプライバシーを損なわないように対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活で、本人の希望や意志を自己決定できるように声掛けに心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしいペースで生活できるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で、服を決め出かける時は、職員と一緒に服を選び、おしゃれして外出しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	月に1度ご利用者が、おやつ作りを皆で、食べるイベントを行っています。食事の準備や片づけ買い物を手伝って頂いています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者のカロリー調整や薬の調整で食べられない物を把握し提供しています。水分は、2000CCを目標に飲んでいただいています。献立には気を遣い魚料理や酢の物などバランスよく献立を作っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは三食後・起床時・臥床時行っています。口腔内を観察し支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自立支援に向け、少しでも紙パンツやオムツを減らす取り組みをし3名布パンツになりました。これからも排泄チェックを行い布パンツに移行して行きます。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	現在水分量を増や下剤薬の廃止に勤めています。食物繊維を取り運動も行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本は、午前中入浴ですが、希望により夜間の対応もしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の習慣に応じて就寝時間も違ってきます。眠れる時間まで、リビングで過ごされたり、居室でくつろげるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに服薬の情報を共有しています。薬を確実に飲んでいただけるように、時間・曜日に個別袋を用意支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日リハビリ体操や音楽体操で体を動かしていただいています。掃除・洗濯・食事作りなどその方の得意なものをやって頂き役割分担しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望に添って外食会や地域の行事・デパート・スーパー・百貨・洋服屋・ぶどう狩り・サファリパークに外出しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人的にお金を持っている方はいませんが、個人で買い物に行くときは、支払いを利用者様にして頂くこともあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者の希望により電話連絡をしていますが、比較的是がきや手紙を使用しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングのような共有部分には間接照明器や心地よい温度・湿度設定に心がけています。季節が分かるように壁には、季節感のある飾りつけをしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには、ソファを配置しておりどこでも好きな場所に座って頂き、気の合ったご利用者様と気軽に会話できるように心がけています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の居室には、なじみの家具や家族の写真を持って来ていただき居心地の良い部屋作りをしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険の無いようにバリアフリーの建物となっています。トイレの位置や浴室の位置など解り安いように工夫しています。手すりも取りついており移動しやすい配慮をしています。		